



「はるか昔」

公衆電話がすっかり見られなくなった。コインを握りしめて、故郷に電話をしたのが懐かしい。

公衆電話に何人も人が並んでいた時代もあった。友人と二人で電話ボックスに入って、会話を分けあった日もあった。

肝心な時にコミュニケーションが取れないことも、この電話にはない。空を行く電波は、地を這う線よりも

ろくて弱い。

私は今日も旅先で公衆電話を探している。はるか昔の自分自身と話をするために。